

全国 知財創造実践甲子園

優秀賞&審査員特別賞!!

◆家政科3年生 快挙達成！！

2月19日（土）、全国 知財創造実践甲子園 2021（主催：山口大学 知的財産センター）がオンラインで開催され、家政科3年の米山 小雪さんが優秀賞を、古賀安優奈さんが審査員特別賞を受賞しました。この大会は、いろいろな取組を「新しい創造をする」「創造されたものを尊重する」という知財創造教育の視点で見つめ直し、新たな創発の機会に繋げることを目的として開催されるものです。

優秀賞を受賞した米山さんは「障害者の方が少しでも外出しやすいように」という問題意識のもと、「障害者用諫早ガイドブック」の作成に取り組んできました。作成のために、山茶花高原ピクニックパークをはじめ、20件近くの店舗、公共施設を訪問し、聞き取り調査や実施調査を行いました。また、障害を持った方々に意見を求めたりしながら改良を重ねてきました。このような努力が実り今回の受賞となりました。

審査員特別賞を受賞した古賀さんは、「子どもたちの想像力や挑戦する力、考える力を伸ばしたい」という意識のもと、おにぎりに見立てた知育おもちゃを製作しました。何度も小学生や幼児に使ってもらい、改良を重ねたことが高く評価され今回の受賞となりました。

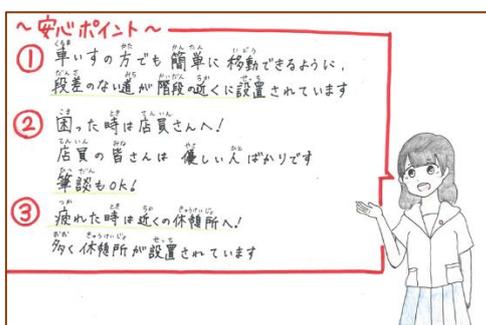


図1 米山さんのガイドブックより

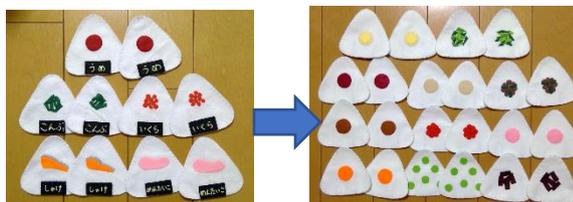


図2 古賀さんの知育玩具（左：改良前、右：改良後）

SSHは、「先輩を越えろ」が合言葉です。1、2年生のみなさんも是非今回の2人を越えるような、素晴らしい発表ができるように取り組んでください。